

錦繡の弥山川を歩く

11月8日(火)、健生会友の会山歩きクラブの第90回例会登山が行われた。目的地は奈良県天川村の「白川八丁」。そこは県内最高峰の「弥山、八経ヶ岳」から流れ下ってくる弥山川の中流域にある石ばかりの川原なのだ。

弥山川は県下屈指の渓谷美を誇る急流で、いくつもの滝や断崖絶壁を縫うようにして登山コースが設けられている。鎖場や梯子が連続する難コースだが、大自然の凄じばかりの美しさを堪能できる登山路なのだ。

この日はその登山路のほんの入り口を歩いて**ガマ(釜)滝**まで往復し、紅葉と渓谷美とを



↑白川八丁。水は地下を流れている

楽しもうとのプランで、初級者も参加できる企画になっている。

私は久々に参加、8月に発症した「関節リウマチ」との闘病中なので、リーダーに「途中までの参加になるかも」と断りをいれて歩き出したが、これは杞憂に終わり、なんとか隊列に遅れることなく歩き終えた。そしてこの日も翌日も身体に異変は起こらなかった。

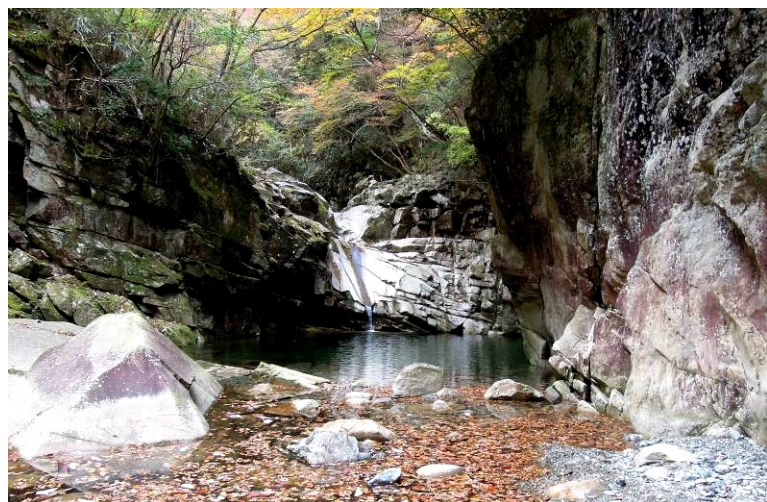
期待していた紅葉はあと一つの感じだったが、参加者はそれなりに深山幽谷の秋の趣と往復のバ

↓**ガマ滝** ス車窓からの景色を楽しんでいたようだ。

さて私自身の残された人生だが、リウマチと辛抱強く付き合いながらの歩みになるのだろうが、山歩きの方はどうなるだろう。

主治医の土庫病院横山医師にも、リウマチ専門の先生にも「一定の時期に登山を再開したい」との願いを伝えているが、私のわがまを病が許してくれるだろうか。

あせらず、しかし希望を持ち続けて、明るい展望を切り開いてゆこうと思っている。





介護事業所「ももの家」がオープン

11月1日、「看護小規模多機能型居宅介護事業所」ももの家が開設された。奈良県下で2番目の新規の施設で、社会医療法人健生会が「住み慣れた自宅で暮らし続けたい」という高齢者やその家族の願いに応えての介護・看護の新しい拠点施設。

高田市民なら、訪問看護、訪問介護や宿泊サービスなど複数の介護保険サービスをうけられる。場所は土庫病院の北。お問い合わせは0745-21-1180へ。

続・二上山に咲く花々 14

ヤブコウジ(藪柑子) ヤブコウジ科 ヤブコウジ属

写真は澤木仁さん

常緑で、冬、実が真っ赤に熟すのでめでたいとされ、センリョウ、マンリョウと共に正月の飾りに使われます。従って季語としては冬。樹林帯に下草のように群れて自生する小低木。夏、白い花を下向きに咲かせます。別名十両。

ちなみに百両と呼ばれるカラタチバナも二上山に自生、別名一両のアリドオシはまだお目にかかりませんが、近縁のオオアリドオシが自生しています。



続・二上山に咲く花々 15

アキチヨウジ(秋丁字) シソ科 ヤマハッカ属

写真は澤木仁さん

夏の終わりから谷川沿いの崖地などに青紫色の細長い(2cmほど)花をつけます。花の形が丁字形だからこの名に。高さは60~90cm、花は同じ方向に偏って咲き、茎はシソ科特有の方形。この花も秋のおとずれをいち早く教えてくれる花で、見た目にも清々しい。

